

〈平成17年（2005年）基準〉

# I 調査結果の概要

## 1 概況

平成21年の農産物価格指数（平成17年を100とする。以下同じ。）の総合は95.7となり、前年に比べて2.0%低下した。また、農業生産資材価格指数の総合は111.3となり、前年に比べて2.0%低下した。

この結果、農業の交易条件指数（農産物価格指数（総合）／農業生産資材価格指数（総合）×100）は86.0となり、前年と同水準となった。

図1 農業物価指数の推移(平成17年=100)

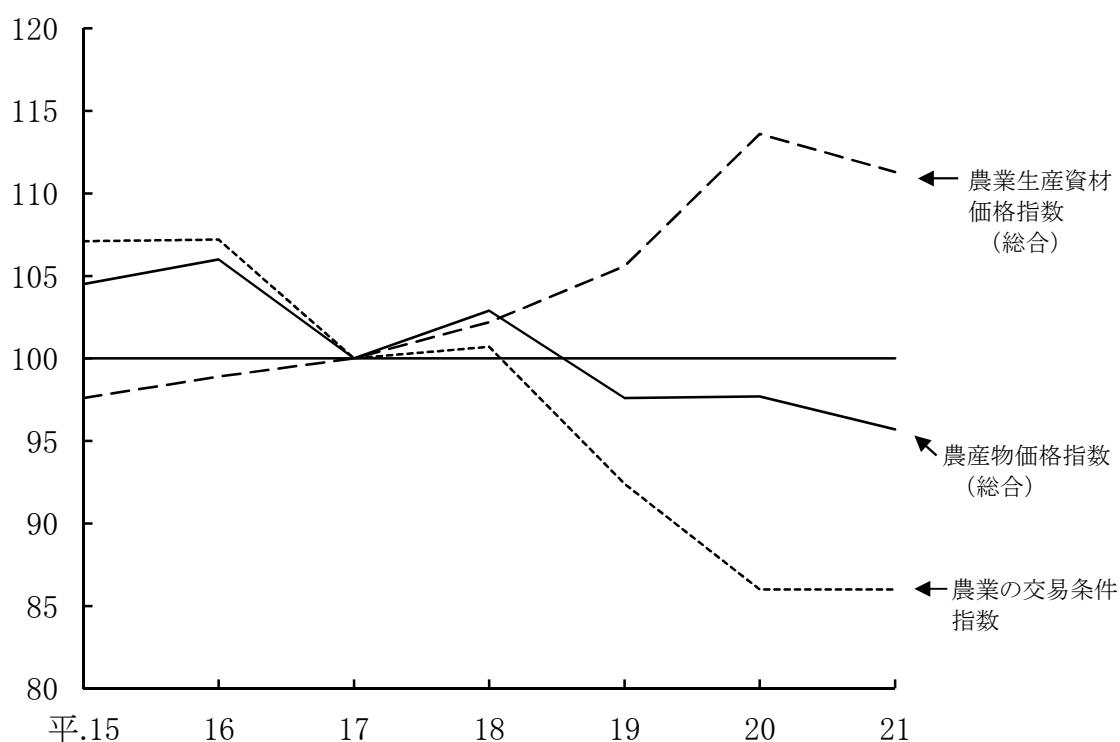
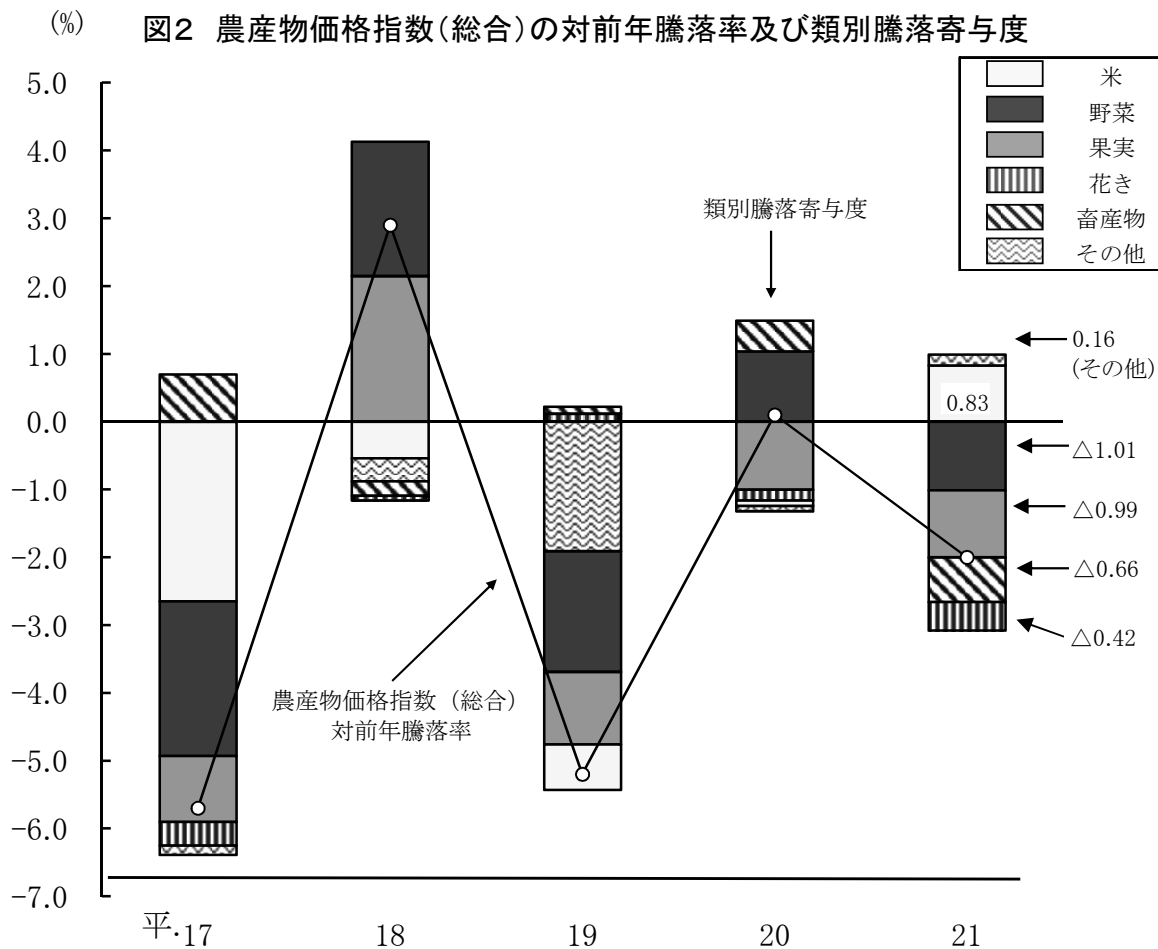


表1 農業物価指数の推移

区 分	平成17年=100							
	平. 15	16	17	18	19	20	21	
農産物価格指数(総合) ①	104.5	106.0	100.0	102.9	97.6	97.7	95.7	
農業生産資材価格指数(総合) ②	97.6	98.9	100.0	102.2	105.6	113.6	111.3	
農業の交易条件指数 ①／②×100	107.1	107.2	100.0	100.7	92.4	86.0	86.0	

## 2 農産物価格指数

平成21年の農産物価格指数（総合）は95.7となり、前年に比べて2.0%低下した。これは、野菜、果実、畜産物等の価格が低下したことによる。



### ア 米

米は98.0で、前年に比べて3.5%上昇した。これは、小麦製品の値上がりによる需要の増加等により価格が上昇したことによる。

### イ 野菜

野菜は100.7で、前年に比べて3.9%低下した。これは、夏の日照不足により出荷量が減少したものの、前年が輸入食品による薬物中毒事案の影響から国産需要の増加により価格が上昇していたことによる。

### ウ 果実

果実は91.5で、前年に比べて9.2%低下した。これは、21年産みかんが表年で出荷量が増加し、価格が低下したこと等による。

エ 花き

花きは93.0で、前年に比べて5.7%低下した。これは、切り花及び鉢物の価格が低下したことによる。

オ 畜産物

畜産物は98.5で、前年に比べて3.1%低下した。これは、鶏卵及び肉豚等の価格が低下したことによる。

表2 農産物価格指数の推移

		平成17年=100					
農産物	ウエイト	指数		対前年騰落率		騰落寄与度	
		21	20	21	20	21	20
				(%)	(%)	(%)	(%)
農産物総合	10 000	95.7	97.7	△ 2.0	0.1	△ 2.05	0.10
米	2 468	98.0	94.7	3.5	△ 0.3	0.83	△ 0.08
麦	230	63.8	59.1	8.0	1.5	0.11	0.02
雑穀	6	115.0	90.7	26.8	△ 4.8	0.01	△ 0.00
豆	124	77.1	73.5	4.9	△ 9.6	0.05	△ 0.10
いも	263	94.0	90.6	3.8	8.2	0.09	0.19
野菜	2 414	100.7	104.8	△ 3.9	4.2	△ 1.01	1.04
果菜	1 083	102.1	103.5	△ 1.4	△ 1.7	△ 0.16	△ 0.20
葉茎菜	935	94.5	99.7	△ 5.2	7.9	△ 0.50	0.70
根菜	263	104.6	118.9	△ 12.0	16.9	△ 0.38	0.46
まめ科野菜	133	125.5	123.0	2.0	3.4	0.03	0.05
果実	1 045	91.5	100.8	△ 9.2	△ 8.4	△ 0.99	△ 1.00
工芸農作物	626	83.6	85.2	△ 1.9	△ 3.3	△ 0.10	△ 0.19
花き	741	93.0	98.6	△ 5.7	△ 2.1	△ 0.42	△ 0.16
畜産物	2 075	98.5	101.6	△ 3.1	2.1	△ 0.66	0.45
鶏卵	115	89.2	100.7	△ 11.4	17.1	△ 0.14	0.17
生乳	829	110.4	102.3	7.9	5.2	0.69	0.43
肉畜	792	94.3	106.3	△ 11.3	3.8	△ 0.97	0.32
子畜	300	82.4	89.6	△ 8.0	△ 14.2	△ 0.22	△ 0.45
成畜	39	79.9	85.5	△ 6.5	△ 8.6	△ 0.02	△ 0.03
稲わら	8	105.6	101.7	3.8	0.0	0.00	0.00

注：騰落寄与度は、総合指数の対前年騰落率に対する各類別指数の寄与度を示したものであり、算式は次のとおり(以下同じ)。

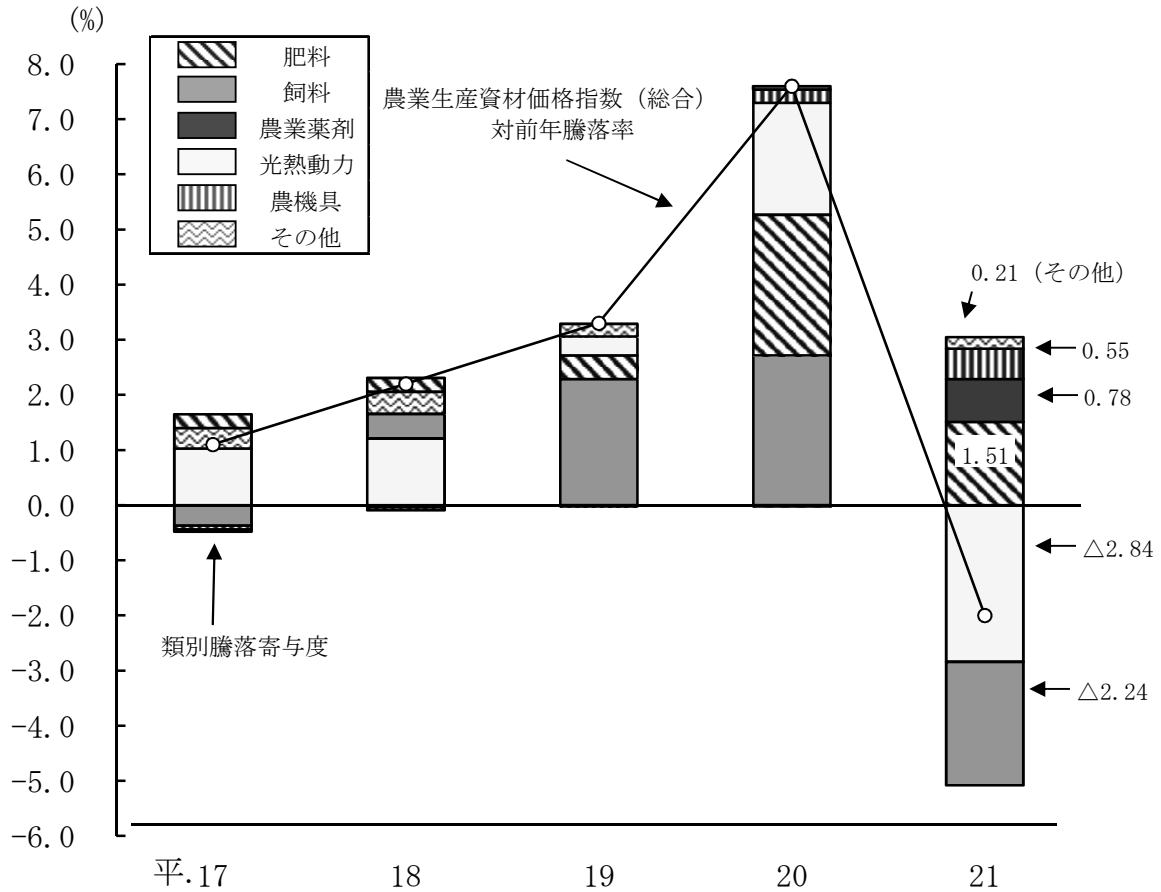
$$\text{騰落寄与度}(\%) = \frac{\text{類別}((\text{当年指数} - \text{前年指数}) \times \text{ウエイト})}{\text{総合}(\text{前年指数} \times \text{ウエイト})} \times 100$$

### 3 農業生産資材価格指数

平成21年の農業生産資材価格指数(総合)は111.3となり、前年に比べて2.0%低下した。

これは、肥料や農業薬剤等の価格が上昇したものの、飼料や光熱動力等の価格が低下したことによる。

図3 農業生産資材価格指数(総合)の対前年騰落率及び類別騰落寄与度



#### ア 肥料

肥料は148.4で、前年に比べて12.3%上昇した。これは、輸入原材料価格が上昇したことによる。

#### イ 飼料

飼料は120.7で、前年に比べて12.2%低下した。これは、外国産穀物相場及び輸送費が低下したことによる。

#### ウ 農業薬剤

農業薬剤は109.9で、前年に比べて9.7%上昇した。これは、原材料価格が上昇したことによる。

エ 光熱動力

光熱動力は105.0で、前年に比べて24.6%低下した。これは、原油価格が低下したことによる。

オ 農機具

農機具は104.5で、前年に比べて3.4%上昇した。これは、原材料価格が上昇したことによる。

表3 農業生産資材価格指数の推移

		平成17年=100					
農業生産資材	ウエイト	指数		対前年騰落率		騰落寄与度	
		21	20	21	20	21	20
				(%)	(%)	(%)	(%)
農業生産資材総合	10 000	111.3	113.6	△ 2.0	7.6	△ 2.02	7.58
種苗及び苗木	661	102.7	101.8	0.9	1.2	0.05	0.08
畜産用動物	428	85.6	90.2	△ 5.1	△11.7	△ 0.17	△ 0.49
肥料	1 054	148.4	132.1	12.3	23.9	1.51	2.55
飼料	1 512	120.7	137.5	△12.2	16.0	△ 2.24	2.72
農業薬剤	916	109.9	100.2	9.7	0.7	0.78	0.06
諸材料	477	111.1	106.5	4.3	3.7	0.19	0.17
光熱動力	945	105.0	139.2	△24.6	19.5	△ 2.84	2.03
農機具	1 841	104.5	101.1	3.4	1.4	0.55	0.24
自動車・同関係料金	547	101.1	100.8	0.3	△ 0.1	0.01	△ 0.01
建築資材	497	108.1	108.0	0.1	1.4	0.00	0.07
農用被服	38	102.0	101.0	1.0	1.2	0.00	0.00
賃借料及び料金	1 084	102.9	101.5	1.4	1.6	0.13	0.16